



大坂なおみ「無知な発言」 森会長に不快感／テニス

2021/02/06 18:34

女子テニス・ギブスランド・トロフィー第8日（6日、オーストラリア・メルボルン）世界ランキング3位の大坂なおみ（23）＝日清食品＝は準決勝を棄権。肩の不調を訴え、8日開幕の全豪オープンに向けて休養を優先した。記者会見では、東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長（83）の女性蔑視発言について言及。「情報不足で少し無知な発言だと思う」などと指摘した。

「何かを言う前に考えるべき」

日本が誇る“女性アスリートの顔”が、一石を投じた。大坂が森会長の女性蔑視発言に対し、物申した。

「いいことではないと思う。情報不足で少し無知な発言。コメントにある背景を知りたい」

前日5日の準々決勝勝利後の記者会見で、この問題について問われた大坂は「詳しく知らない。これから読むので、また明日聞いて」と回答を保留。一夜明けて、その言葉通り、しっかりと自分の考えを口にした。

大坂も「楽しみ」と語る自国開催の東京五輪。その運営責任者の不適切な発言を「彼のような立場にいるなら、何かを言う前に考えるべき」とバツサリ。トップが放つ言葉の重みを指摘した。

「話すべきかも問われ「私はテニス選手なので...。よく分からない」としたが、「コメントを求められる立場にある人は、話す事柄について知識が必要だと思う」と意見した。さらに「周りの人も、彼の発言が多くの人をどういう気持ちにさせるかを（森会長に）伝えるべき」と加えた。

大坂は自身3度目の四大大会制覇を成し遂げた昨年の全米オープンで、黒人被害者の名前が刻まれた合計7枚の抗議マスクを着用。人種差別への抗議の意思を示すなど、社会問題に対して積極的に声をあげている。

女子シングルス世界ランキング3位で、東京五輪出場が濃厚。金メダル獲得が期待される23歳は「開催されなかったら悲しくなると思う。ものすごく情熱はある」と強い思いを口にした。

弾みをつけたい五輪イヤー最初の四大大会、全豪オープンは8日に開幕。準決勝まで進んでいた前哨戦は右肩の痛みもあり、大事をとって棄権したが「大切なのは一大会ずつ戦うこと。今は全豪に集中したい」と2年ぶりの王座奪還を狙う。

■棄権相次ぐ全豪前哨戦

6日のエリーズ・メルテンス（ベルギー）との準決勝を棄権した大坂。14日間の隔離期間が明けた後、5日の準々決勝まで3試合を消化しており「普通は四大大会直前の週の大会ではプレーしない。棄権は正しい決断だと思う」と説明した。ヤラバレー・クラシックでは、世界10位のセリーナ・ウィリアムズ（米国）が、グランピアンズ・トロフィーでは、同13位のビクトリア・アザレンカ（ベラルーシ）が棄権。全豪前哨戦は上位選手の棄権が相次いでいる。

おすすめのトピック